

監理団体の選択基準を考える！！ 高い派遣料を払いながら、労働力にならない訳

ことばの研究所
TEL 086-486-1742
FAX 086-486-1744
kotoba ken@yahoo.co.jp

- ※ 最近、弊社に監理団体についての相談や苦情が急に多く寄せられるようになった。特に、看護・介護分野ではEPA受入れの失敗から実習生の切替えが増えたからだ。
- ※ 相談の多くは、「監理団体の選択基準が分からない」とか、「優良か悪質かが分からないままに契約した結果、トラブルが発生した」とか等だ。

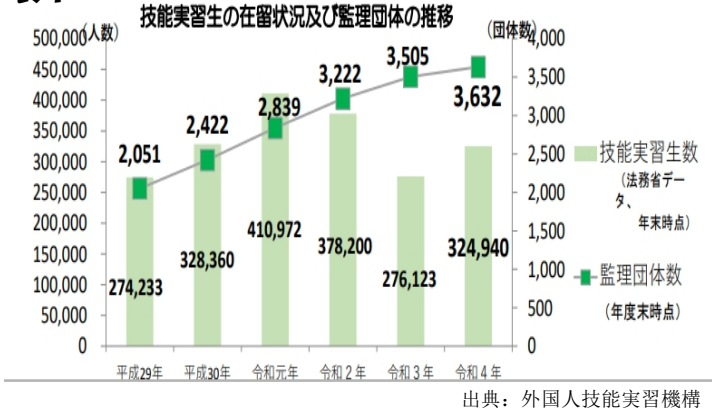
- ※ 多くの監理団体は、日本語能力（N3）を打ち出し、すぐ即戦力になる人材だと謳っているが、実際には意思疎通ができない人材だったとの声が多くある。
- ※ 監理団体の見極めは、創立者の経歴を見ればその本質が分かる。また、日本語能力を売りにして派遣している団体は、決して良質な団体とは言えない。

I、【監理団体をどのように選んでいる？！】

1. 技能実習生と監理団体の推移（表1参照）

- A、平成29年では、実習生数が274,233。監理団体数は2,051。令和4年では、実習生数が324,940。監理団体数は3,632だった。
実習生数は令和元年の410,972をピークに減少しているのに対して、監理団体数は、6年間で右肩上がりに増加している。
- B、監理団体数3,632の中から選択することは、極めて困難なことだ。中には、有力団体が創立した監理団体や、知名度の高い会社が創立したものを選びがちになる。そして、費用を目安にする選び方もあるが、人材の質を考えての選択はどうしても、後回しになってしまう傾向がある。

表1



2. 人材派遣料の中に日本語教育費が含まれている？（表2参照） あなたは、A、Bのどちらを選ぶ？

- A、日本語教育をし、生活サポートもする
B、日本語教育はなくて、生活サポートはある
① A ② B

- ※ 監理団体が日本語教育を行うので、日本語学習支援金がある自治体でも、日本語教育の必要性を感じずに助成金申請すらしない受入れ施設が多数あるのが、現状だ。
しかし、人材を受入れてみて実習生の日本語力の無さに驚き、困惑する施設が多数あることも事実だ。
- ※ 監理団体の種類で、A企業単独型とB団体管理型とがある。
しかし、受入れ内容は共に同じで差異はないのが特徴だ。
さらに、日本語教育並びに、介護講習は合計482時間とされているにも関わらず、入職時の日本語能力は決して十分とは言えない。

1. 日本語能力を4級、3級という団体は信用できる？！

（表3参照）

- 表3の【入国後の講習時間】によると、合計240時間の日本語教育が実施されることとなっている。その中で一番多い時間数は、総合日本語とあるが、この意味がどんな教育を行っているのかが不明だ。確認する必要がある。
即ち、日本語教育の専門家からみると、基礎言語能力は【聴解力・会話力・読解力・構文力】の四つの基本技能を養うことが教育目的だ。この能力を確認するためには、入職時に言語能力試験を行って、把握することが必要だ。

II、【受け入れた時の日本語能力はどうですか！！】

- A、全然通じない。
B、言っていることが分からない。
C、単語の羅列。
D、漢字は分からない。
E、日本人の小学1年生レベル。

必ず入職時に確認して、判断しよう！！



仕事はできる？ できない？
労働力になる？ ならない？

※入職時にこの表を使って、必ず言語能力を見極めると今後の指導に役立ちます。

表2 【監理団体の種類と内容】

2. 受入れ方式

- 種類：A、企業単独型
B、団体管理型

内容：技能実習生は入国後に、日本語教育や法的保護に必要な知識等についての講習受講後、日本の企業等との雇用関係の下で、実践的な技能等修得を図る。

3. 日本語教育・介護講習について

日本語教育：介護職種では、入国後講習において240時間以上必要。
介護講習：介護に関する基礎的な事項42時間以上学ぶ必要。

表3【入国後の講習時間】

教育内容	時間数
総合日本語	100
聴解	20
読解	13
文字	27
発音	7
会話	27
作文	6
介護の日本語	40
合計	240

特定・技能実習生 100 人に聞いてみた！ 日本語・仕事についてどう思ってるの？

※ 弊社は、一般の技能実習生の【日本語力調査】を 100 名対象に行った。質問の内容は、下記 9 項目で、特徴的なのは、8【質問の仕方について】が一番反応が多かった。次に、7【研修・学校授業について】だった。

※ 6【職員の話し方について】は、年配職員の話し方が特に、聞き取りが難しく、9【言葉が難しい】も加わり、話す内容の **30%程度**しか理解できていないことが判明したのは、教育者として驚いた。

1.【文字について】

日本語はひらがな・カタカナ・漢字があって覚えるのが大変。漢字は嫌いではないけれど、読めても、意味が分からない。どうすればいい？

2.【書くことについて】

今まで書く勉強はしなかったので、話せても書けないし、文はとても無理だ。書けるようになりたいけれど、誰も文の作り方を教えてくれないから、とても困っている。どうやって自分一人で勉強すればいいのかが、分からない。

日本語の難しさは何？



5.【勉強の仕方について】

勉強の仕方を誰も教えてくれない。だから、一人で勉強はできないから、面白くもないし、勉強しない。

3.【日本語の文について】

言葉はたくさん勉強したけれども、文が作れない。だから、会話の時も、言葉を並べるだけで話す。

4.【文法と助詞について】

たくさん文法を勉強した。自動詞とか他動詞とか接続詞とか。でも、日本語能力試験はできない。人と話す時でも全然使えない。助詞がたくさんあるから、すごく使い方が難しい。助詞の意味が分からないからどうやって使えばいいのかが分からない。

6.【職員の話し方について】

知らない言葉を使うので、言っていることが分からないし、早い。忙しいので何回も聞くと、悪い気がするし、怖い顔をするから、あまり聞けない。

7.【研修・学校授業について】

仕事・学校の研修がある。でも、先生が話す日本語は 30%位しか分からない。分かるように、もっと簡単な言葉で、ゆっくりと話してほしいし、分かるまで教えてほしい。

日本語を使って 本当に仕事ができる？



8.【質問の仕方について】

分からなくても、どうやって質問すればいいのかが分からない。事業団教材には質問の仕方がないために、自分から日本人に質問できないので、いつも嫌な気持ちがある。

9.【言葉が難しい】

聞いたことがない言葉を聞くと、分からないから、翻訳機で調べる。でも、よく分からないので、困る。生活で使う言葉と違うので、介護の言葉はとても難しい。

- 上記のような声を聞いたことが、ありませんか？
- 外国人を育てるには、時間がかかると思っていますか？
- 仕事を任せるには、時間がかかると思っていますか？

※ 日本語教育に満足していない方は、
下記に今すぐ、ご連絡下さい！



【外国人対応レクチャー（1 時間）のメリット】

- 1、無料でできる
- 2、好きな時間にできる
- 3、多人数でもできる
- 4、双方向で相談ができる
- 5、学習指導の参考になる
- 6、業務指示に役立てられる



ZOOM 授業 3 回（6 時間）で 日本語力が、大変身！！



※ 「6 時間だけの勉強で」と言われても、信じられませんし、信じませんよね。信じられないのは当たり前です。だって、今まで何百時間も日本語教育を受けてきた結果が、現状でしょう。



※ 今までの常識が、絶対に吹っ飛びます。まずは、レクチャーを体験して、本当の教育方法を実感して下さい。

【問合せ先】メール：kotoba_ken@yahoo.co.jp

TEL：086-486-1742

施設の声

事業団から一般募集に変えた理由！！

- EPA と技能実習生を受け入れている。実習生は転職組のため、監理団体を通さずに受け入れた。東京や神奈川は他業種から転職してくる者や、地方の介護施設から首都圏に移動してくる者が多い。中には、友達関係や SNS の口コミで入職する者もいる。首都圏内でも人材の移動は多いから、確保は常にしないといけない状況だ。地方の施設は、本当に大変だろうと思う。
- 神奈川県で施設が集まる会議に参加した時、事業団の職員が EPA をもっと積極的に受け入れてくれるように話をしに来ていた。わざわざ出向いて来るということは、それだけ EPA を受け入れたいという施設が減ってきているのではないかと感じた。
- 事業団は受け入れ時の手続きや、事務処理が本当に面倒なので、参加施設も減ってきているのだろう。事務手続きだけでも改善されたら、施設も楽になるのに事業団は考えてくれないので、参加しなくなるのだ。EPA 候補者の年代は以前よりも高くなり、若い人が少なくなっている。さらに、人材の質も年々、下がっていると感じる。
- 当施設も常に人手が不足、現場は本当に大変な状態であることは間違いない。とは言っても、すぐに外国人が来たとしても、業務を安心して任せられるまでには、一年間はかかる。そのことを計算して、人材募集を常にしなければならない。しかし、日本人は来ないし、こちらが求める「使える人材」が集まらないのが実態で、大変困っている。
(神奈川県・S施設)

EPA は定着しないので辞めた！！

- EPA を何年も受け入れてきたが、国家試験に合格しても、全員帰国してしまった。定着して働いてくれることを期待していたから、本当に残念だ。EPA は、合格しても残らないことが分かったので、受け入れを辞めた。今は、技能実習生と留学生が在籍している。しかし、日本語力が十分でないために、実務能力がないことが欠点だ。
- 留学生は学校で日本語を学んでいる途中で、本当の日本語能力が分からない。実習生は他職種から転職した人で、監理団体を通さずに受け入れることができた。しかし、一年間で N3 取得をしなくてはならず、忙しい業務時間を割いて、職員が日本語を教えているので、負担が大きい。(千葉県・R施設)

煩雑な受け入れ手続きをなぜ、施設が？！

- EPA を一名受け入れていたが、国家試験は不合格だった。延長で残るかと思いきや、都会の施設に転職すると言い出して、とても残念だ。業務はある程度できるようになって、人手不足の中、本当に助かっていた。移動の話が出た時は、がっかりした。大きな期待を持っていたので、裏切られた気持ちだ。
- 転職理由を聞き取った所、「都会のほうで便利だし、給料も高いため」と言われた。そこで、「都会は給料は高いが、その分生活費もかかる。一から人間関係を築いていかなければいけない」という内容を本人に分かりやすく話した。さらに、「慣れた所で、もう少し続ける気持ちはないか」と聞いても、本人の気持ちはすでに固まっていた。
- 都会で働いている友達から声がかかり、就職先も既に決まっていた状態だった。SNS で情報交換が活発で、地方の施設にとっては、人材流出はすごく痛い、もう仕方がないなどと、諦めた。当施設は人材不足で大変なので、今後は EPA から方向転換し、特定技能実習生か、留学生の受け入れを考えている。
- EPA は受け入れ手続きが煩雑なために、時間が割かれること。また、事業団から学習を勤務時間内でさせる要求があり、業務ができない。さらに、研修などで勤務に支障が出て経費もかかるためだ。(和歌山県・T施設)

学校に通っても介護記録が書けない！！

- 昨年の 12 月に入った EPA は、5 月から日本語学校に通いながら学習を始めている。以前からいる候補者も同じ学校だ。入職二年目の人は、国家試験対策のため、職員が指導中だ。頑張って仕事をする前向きな姿に、日本人職員も気持ちが萎えた時などには、その姿を見て気持ちを取り直せるので、彼らの存在は大きい。
- 日々の仕事の様子は、毎日の決まりきった業務は黙々と、こなせてはいる。けれども、利用者やその家族との対応は、まだまだ意思疎通の面で困ることが多いので、一人では任せられていないのが実状だ。本人は、一生懸命、利用者や家族の話を聞こうとしているのだが、思うように意思疎通ができず、対応の難しさを感じているようだ。
- 介護記録は手書きではなく、PC 入力をさせている。しかし、利用者一人一人の状態が違うので、日本人も 30 分程度かかるが、その倍の 1 時間以上はかかってしまう。その上、書いた内容を職員が見てもよく分からないことが多い。さらに、書きたい気持ちはあっても実際に書けていないことも多い。結局は、日本人が助ける必要があるので、職員の負担は大きい。一番の悩みは、利用者やその家族対応と、介護記録が書けないことだ。文が書けないのは困る。(福井県・A施設)